

学校教育目標

志を持ち、心豊かでたくましく、よく学び考える 妹背牛の子

妹もせうし小だより



妹背牛町立妹背牛小学校 学校だより 令和5年11月28日発行No.9
発行：新保 秀樹 文責：渋谷 憲一

6年生の作品
妹背牛神社

秋から冬へ～日暮れもすっかりはやまってきました

校長 新保秀樹

すっかり秋らしく、というより冬の足音がもう聞こえてきました。日没の時刻もすっかり早まり暗い道等での交通安全について、ご家庭でもご指導をお願いします。

秋冬の夜長に～読書のすすめ

かなり以前のことになるのですが、町教委で行う学校の教育活動を評価する仕組み「学校関係者評価」において、評価委員の皆様から学校での「読書指導」についてのご質問を受けました。本校では主に朝の始業前の「朝自習」の時間帯に週1・2回程度「読書の時間」を設けたりするなどして本に親しむ機会を作るなど啓発を行っています。

「子どもの頃から読書量が多いと自己理解力や批判的思考力、主体的行動力が高い」

国立青少年教育振興機構は、20～60代の男女5000名を対象としたアンケート調査から子どもの頃の読書量と「自己理解力」、「批判的思考力」、「主体的行動力」の関連について分析しました。

調査の結果、小学校から高等学校を通して読書量が多いと回答した人は、読書量が少ないと回答した人に比べて、「自己理解力」や「批判的思考力」、「主体的行動力」のいずれの項目も高いことが分かりました。

・自己理解力

「今の自分が好きだ」「自分には自分らしさがある」など自己肯定感を含みます。

・批判的思考力

「ものごとを順序立てて考えることが得意だ」など客観的、多面的、論理的に考える力、自分あるいは他者の意見をまとめる力、コミュニケーション力を含みます。

・主体的行動力

「分からないことはそのままにしないで調べる」など何事にも進んで取り組む姿勢や意欲を含みます。

↑「子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究報告書」(R3.8月 国立青少年教育振興機構)より
今やインターネットなどで多様な情報が手軽に手に入るようになりました。しかしながら進んで自分の目で、頭で活字を追うという経験が子ども達の将来の財産になることは間違いありません。屋内で過ごす時間が増えるこれからの季節、「家読(うちどく)」に取り組んでみるようお子様に声掛けしてみてもはいかがでしょうか。

「子どもと一緒に読書を楽しむポイント」

■幼児・小学校低学年

- ・リビングに常に2～3冊の絵本を置くようにする
- ・絵本の読み聞かせをする
- ・図書館の読み聞かせ会に親子で参加する

■小学校高学年

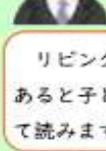
- ・子どもと一緒に読書をする時間(寝る前10分間など)を決める
- ・疑問に思ったことを子どもと一緒に本を活用して調べる
- ・図書館に行って一緒に本を選んで読む

■中学校・高等学校

- ・同じ本を読み、感じたことや考えたことを話題にする
- ・将来の夢や進路に関わる本を子どもと一緒に探して読む
- ・図書館で様々なジャンルの本を選んで一緒に読む



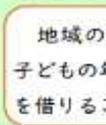
親が子どもの前で読書をする
と、親の姿を見て子どもも読書
好きになりますよ。



リビングにいろいろな本が
あると子どもが本を手にとっ
て読みますよ。



同じ本を繰り返し読んだり、
ジャンルを問わずいろいろな
本を読んだりするとよいですよ。



地域の図書館を活用すると
子どもの年齢や興味にあった本
を借りることができますよ。

児童アンケート・保護者アンケートの結果について

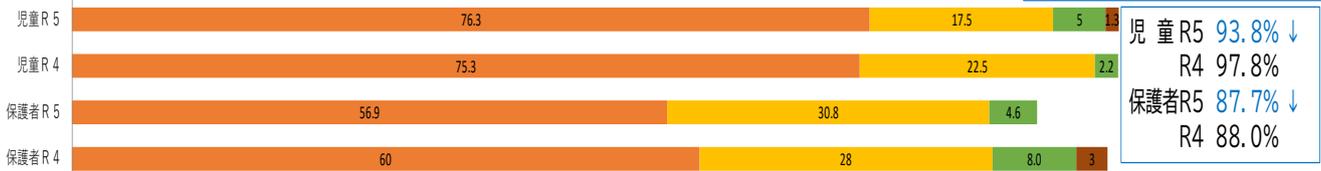
10月末から11月初めに行った保護者アンケートでは、たくさんのご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。保護者の皆様からの学校に対する思いを職員一同強く受け止め、今後も家庭・地域との連携を大切にして学校づくりを進めてまいります。引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。同時期に行った児童アンケートと合わせて、以下、回答結果についてお知らせします。

令和5年度 アンケートの回収率 **児童100%**(昨年度97.8%) **保護者92.3%**(昨年度98.7%)

学校に楽しく通っている

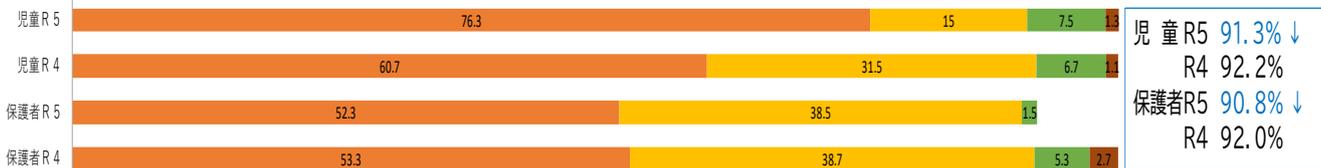
■ 1. そう思う ■ 2. ほぼそう思う ■ 3. あまり思わない ■ 4. そう思わない

肯定的回答率 1・2の回答の合計
「1=そう思う」「2=ほぼそう思う」



家庭で話している

■ 1. そう思う ■ 2. ほぼそう思う ■ 3. あまり思わない ■ 4. そう思わない



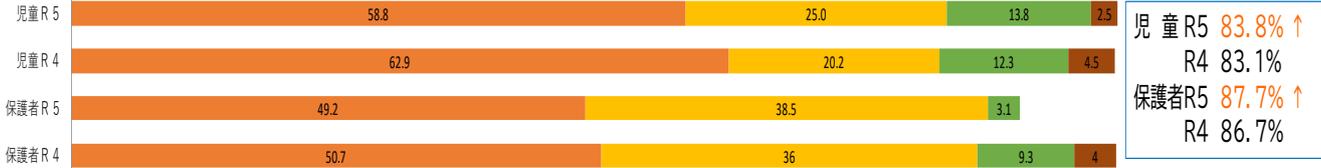
わかりやすい授業づくり

■ 1. そう思う ■ 2. ほぼそう思う ■ 3. あまり思わない ■ 4. そう思わない



家庭学習の指導

■ 1. そう思う ■ 2. ほぼそう思う ■ 3. あまり思わない ■ 4. そう思わない



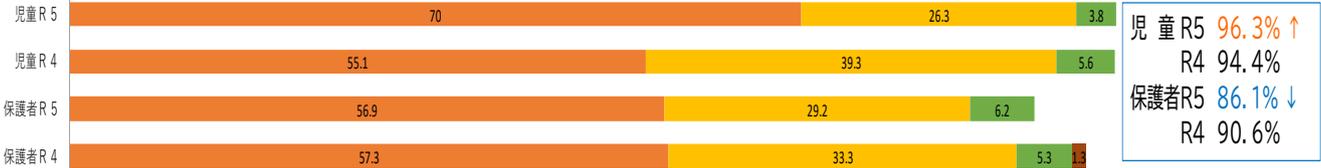
体力・運動能力・運動習慣の向上の指導

■ 1. そう思う ■ 2. ほぼそう思う ■ 3. あまり思わない ■ 4. そう思わない



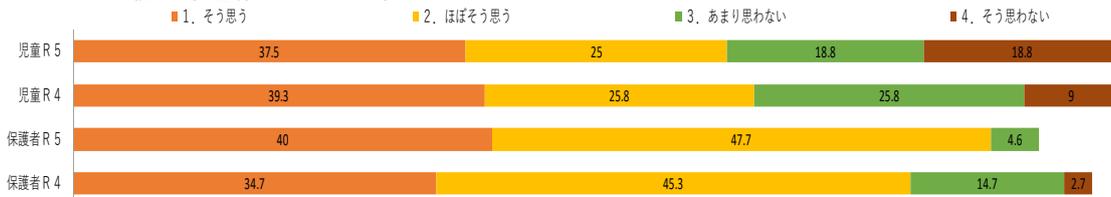
集団生活の指導

■ 1. そう思う ■ 2. ほぼそう思う ■ 3. あまり思わない ■ 4. そう思わない



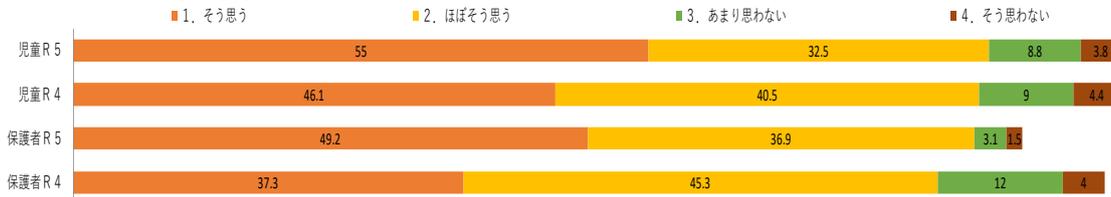
悩みや問題解決に向けての対応

肯定的回答率 1・2の回答の合計
 「1=そう思う」「2=ほぼそう思う」



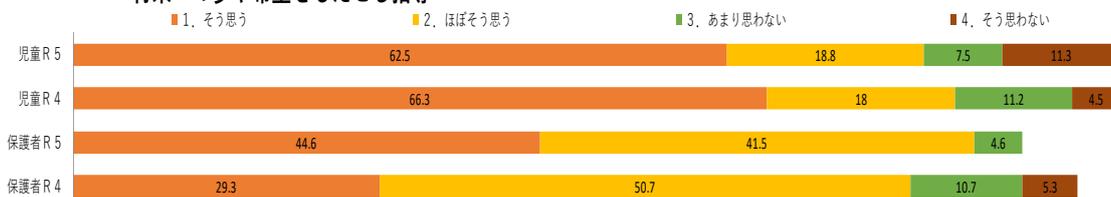
児童R5 62.5% ↓
 R4 65.1%
 保護者R5 87.7% ↑
 R4 80.0%

自尊感情を高める指導



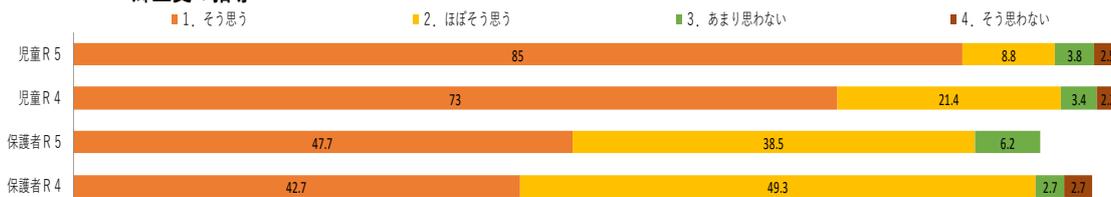
児童R5 87.5% ↑
 R4 86.6%
 保護者R5 86.1% ↑
 R4 82.6%

将来への夢や希望をもたせる指導



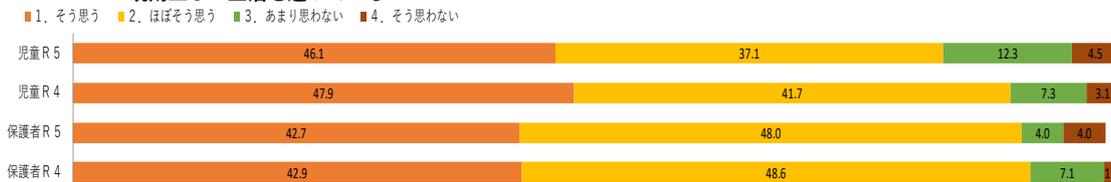
児童R5 81.3% ↓
 R4 84.3%
 保護者R5 86.1% ↑
 R4 80.0%

郷土愛の指導



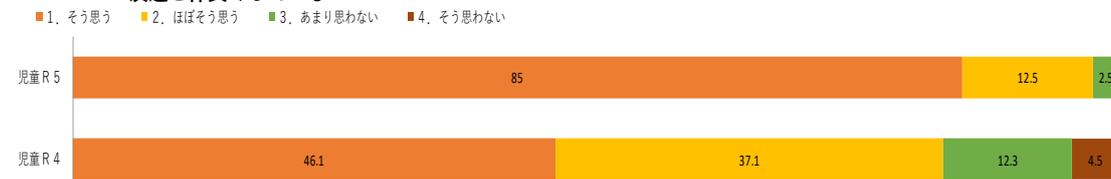
児童R5 93.8% ↓
 R4 94.4%
 保護者R5 86.2% ↓
 R4 92.0%

規則正しい生活を送っている



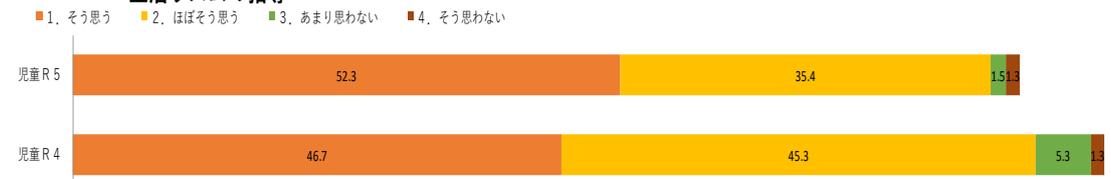
児童R5 91.3% ↑
 R4 83.2%
 保護者R4 89.3% ↓
 R3 90.7%

友達と仲良くしている



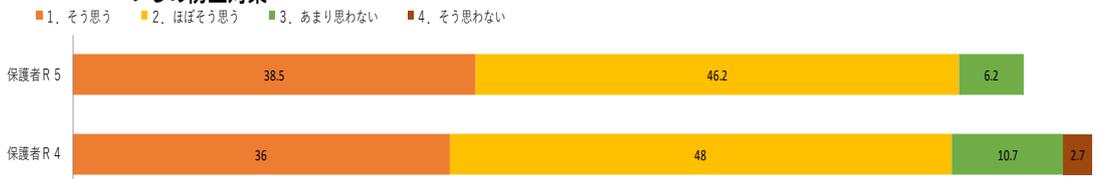
児童R5 97.5% ↑
 R4 83.2%

生活リズムの指導



保護者R5 87.7% ↓
 R4 92.0%
 職員R5 100%
 R4 100%

いじめ防止対策



保護者R5 84.7% ↑
 R4 84.0%
 職員R5 100%
 R4 100%

安全対策

■ 1. そう思う ■ 2. ほぼそう思う ■ 3. あまり思わない ■ 4. そう思わない



肯定的回答率 1・2の回答の合計
「1=そう思う」「2=ほぼそう思う」

保護者 R5 **89.2% ↑**
R4 86.7%
職員 R5 100%
R4 100%

保護者や地域への発信

■ 1. そう思う ■ 2. ほぼそう思う ■ 3. あまり思わない ■ 4. そう思わない



保護者 R5 **90.8% ↓**
R4 92.0%
職員 R5 100%
R4 100%

保護者や地域との連携

■ 1. そう思う ■ 2. ほぼそう思う ■ 3. あまり思わない ■ 4. そう思わない



保護者 R5 **86.1% ↑**
R4 85.3%
職員 R5 100%
R4 100%

ゲームやデジタル機器の使用時間

■ 1. 4時間以上 ■ 2. 3～4時間 ■ 3. 2～3時間 ■ 4. 1～2時間 ■ 5. 1時間未満 ■ 6. 全くしない



2時間以上と回答した児童
R5 **59.9% ↑**
R4 62.6%

ゲームやデジタル機器の使用時間のきまり

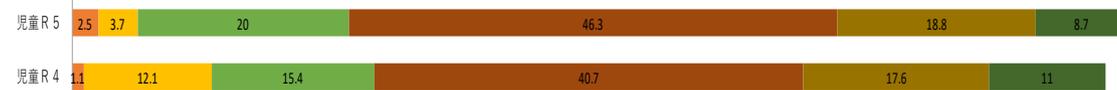
■ 1. そう思う ■ 2. ほぼそう思う ■ 3. あまり思わない ■ 4. そう思わない



保護者 R5 **81.5% ↓**
R4 84.0%

読書の時間

■ 1. 2時間以上 ■ 2. 1～2時間 ■ 3. 30～1時間 ■ 4. 10分～30分 ■ 5. 10分未満 ■ 6. 全くしない



30分以上と回答した児童
R5 **26.2% ↓**
R4 28.6%

読書の指導

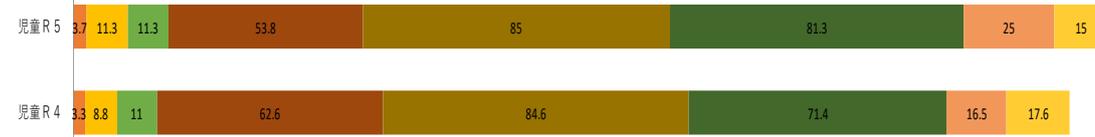
■ 1. そう思う ■ 2. ほぼそう思う ■ 3. あまり思わない ■ 4. そう思わない ■ 5. その他



保護者 R5 **81.5% ↑**
R4 81.3%

休日の過ごし方

■ 1. 学習塾など ■ 2. 習いごと/地域の活動 ■ 3. スポーツ少年団 ■ 4. 勉強/読書 ■ 5. テレビ/ゲーム ■ 6. 家族と過ごす ■ 7. 友達と遊ぶ ■ 8. その他



例年、児童や職員の回答に比べると、保護者の回答の肯定的回答率が低い傾向があります。今年度も同様の傾向は見られますが、全体的には肯定的なご意見も増えてきたのは成果として捉えられます。今後も、職員一人ひとりの指導の積み重ねや、児童や保護者への向き合い方、「チーム妹背牛小」としての組織的対応を改善し、一人でも多くの児童・保護者からの信頼を深められるよう職員全員で努力してまいります。また、種々の活動や取組に対して、学校だより・ホームページ・学級通信・参観懇談など、あらゆる機会を通じ発信方法や内容を工夫して、保護者や地域の理解を深めていきます。

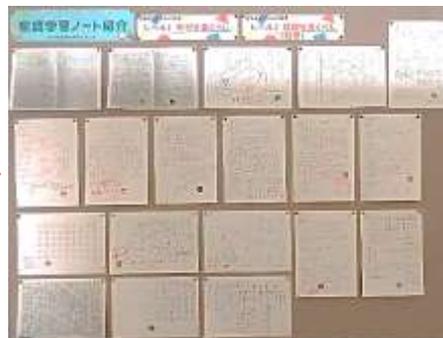
成果＝肯定的回答率の向上が顕著なもの

○「家庭学習の指導」(昨年度に比べ児童は0.7%、保護者は1%向上)

児童・保護者の肯定的回答率が、大きくはありませんがともに向上しています。11月に行われた家庭学習強調週間の振り返りを見ても、目標を達成できたと回答する児童は、前回の6月の時より増えています。今年度の学校の重点目標である家庭学習の目標時間達成率70%以上を目指し、今後も、家庭学習の意欲向上と習慣化を定着できるよう粘り強く指導してまいります。

ご家庭におかれましても、引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。

2月に実施する3回目の家庭学習強調週間では、PTAの取組として、中学生に「家庭学習の大切さ」についてのアンケートを取り、小学生向けの資料として配布することで、意欲向上を促す取組を予定しています。



○「体力・運動能力・運動習慣の向上の指導」(昨年度に比べ、児童は5.4%向上、保護者は2%低下)

昨年度まで感染症対策の観点から、休み時間に学年の制限なく遊ぶ機会がありませんでしたが、今年度から制限がなくなったことで積極的に体を動かす児童が増えたことが、児童の肯定的回答率が向上したことに繋がりました。体育の授業で、各学年が2～3分間走や縄跳び等、新体力テストで課題となった走力・持久力を向上させる取組を続けていることも影響しています。

今後も、体育の授業における運動量の確保に努めるとともに、休み時間には積極的に体を動かすよう呼びかけていきます。また、各委員会が企画・運営する全校集会等で、楽しく運動し、交流する機会をつくります。



○「悩みや問題解決に向けての対応」(昨年度に比べ、児童は2.6%低下、保護者は7.7%向上)

保護者の肯定的回答率の目標であった90%には、わずかに到達していませんが(87.7%)、昨年度より7.7%向上していることは、気になる児童の細やかな情報共有、複数での見守り体制、必要に応じて家庭や関係機関との連携や、SCのカウンセリング等の対応を拡充した成果です。一方で、一部学年児童の否定的回答率が高いことは課題であり、今後も組織的な対応・連携を深めていく必要があります。

○「自尊感情を高める指導」(昨年度に比べ、児童は0.9%、保護者は3.5%向上)

児童・保護者の肯定的回答率が、大きくはありませんがともに向上しています。昨年度に続き、今年度の重要目標として全校で取り組みました。子ども達が自信をつけ、お互いに認め合う学校づくりの現状について保護者の皆様からご理解を頂いていることは、大変ありがたいです。

今後も、児童の自己選択や自己決定の場面を増やしたり、互いの良さを認め合うことで自信につなげたりする活動に力を入れてまいります。

○「規則正しい生活を送っている」(昨年度に比べ、**児童は8.1%向上**、**保護者は1.4%低下**)

8月に実施した生活リズムチェックでは、朝食は例年並みの結果、睡眠時間は8時間以上を確保しているという回答がほぼ100%となりました。**今回の児童アンケートでも児童の肯定的回答率は向上しています。**ただし「生活リズムの指導」に関する保護者の肯定的回答率が**4.3%低下**しているので、指導実践について学校全体、および各学年での発信を工夫していく必要があります。

○「友達と仲良くしている」(昨年度に比べ、**児童は14.3%向上**、保護者の該当質問項目はなし)

子ども達は、休み時間に多くの友達と遊び、男女・年齢に関係なく仲良く接している場面をよく見かけます。現在では大きなトラブルも見つかっていません。昨年度、2割近くの児童が否定的な回答をし、重要課題であったことから考えると、子ども達は、現在ある程度安定した人間関係を築けています。

課題 = 否定的回答率の低下が顕著なもの

○「学校に楽しく通っている」(昨年度に比べ、**児童は4%低下**、**保護者は0.3%低下**)

児童、保護者の肯定的回答率の低下は大きくはありませんが、今年度の学校の重点目標である100%には到達していません。「楽しく通えていない」と回答している児童に関しては、担任や関係する職員による組織的な情報共有と支援を続け、必要に応じて、SCや外部機関との連携を図ってまいります。

○「わかりやすい授業づくり」(昨年度に比べ、**児童は2.9%**、**保護者は5.4%低下**)

今年度の学校の重点目標である児童・保護者の肯定的回答率100%には到達できませんでした。

特に**保護者の肯定的回答率が低下していることが課題です。**

今後は、参観日の際に、各学級の授業改善の取組や「学びのスタイル」の定着について公開し、懇談の場等でご意見を伺いたいです。



○「将来への夢や希望をもたせる指導」(昨年度に比べ、**児童は3%低下**、**保護者は6.1%向上**)

保護者の肯定的回答率は昨年度より6.1%向上しているのですが、**一部学年児童の否定的回答率が高いことは課題と受け止めなくてはなりません。**今後は、特に中学校進学に向けて、将来的な展望をイメージ化する活動を活性化してまいります。

○「郷土愛の指導」(昨年度に比べ、**児童は0.6%低下**、**保護者は5.8%低下**)

保護者の肯定的回答率が、昨年度より5.8%低下しました。

総合的な学習の時間においては、地域学習を教育課程に位置付け、各学年で実践しており、地域と連携した授業や活動もさかんですが、その成果が残念ながら児童にも保護者の方にも伝わっていません。

具体的な取組内容や学習効果についての発信を工夫していく必要があります。今後も活動の成果について、学校だけではなく、町広報誌や新聞等の記事でも紹介できる機会をつくっていきます。



10/24 6年生のしめ縄づくり体験

学校運営の評価を行う上で、児童や保護者の意見を広く聞き取り、全職員で課題と改善策を検討することがアンケートの目的です。今回のアンケートでも、貴重なご意見をいただきました。ご意見については、職員全員で検討する場を設け、今後の学校運営の参考とさせていただきます。

保護者自由記述に対する学校としての回答

○3. 9. 11. 12の質問内容に関して、学校は具体的にどのような取組や指導をしているのですか。参考資料以外で教えてほしいです。

⇒以下、それぞれの質問項目ごとにご説明します。

3. 学校は、様々な場面を通して、子供が正しい生活リズムを送ることができるように指導している。

アンケートと合わせて配付した参考資料では、夏・冬休み明けに行う生活リズムチェックシートにて子供やご家庭が規則正しい生活を送れているかを振り返る機会としていることをご紹介しました。

学校における日常的な指導として、朝の健康観察の際等に、早寝早起きや朝ご飯を食べる重要性を指導しています。また、計画的に家庭学習に取り組むことで、規則正しい生活習慣にも結びつくことも呼びかけています。養護教諭からも、保健室での指導を通して健康的な生活習慣を送る上での助言をしています。

来月には冬休みを迎えます。長期間のお休みでは、生活リズムも不規則になりがちなので、子供一人ひとりが一日を送る計画表を作成します。冬休みにおいても、子供自らが計画した生活を送れるようご家庭でもお声かけをお願いいたします。

9. 学校は、いじめを防止したり、解決したりするために全職員で取り組んでいる。

いじめ対策として重要となるのは、いじめを生み出さない環境をつくる予防対策と、いじめにつながる兆しを発見した場合の迅速な対応の2点となります。

いじめを生み出さない予防対策として、道徳の授業をはじめあらゆる場面で、相手の立場で考え、思いやりの心を育てる指導をしています。トラブルが生じた際も、お互いの言い分を話し合わせることで、子供同士がトラブル解決のきっかけを見出し、人間関係を改善する姿勢を身につけられるよう支援します。

児童会活動においても、仲間づくり活動等、子供自らがいじめのない学校づくりに向けた取組を進めています。また、職員間でも会議等の場で、定期的に「いじめはささいなきっかけで起こり得る」という危機意識を共有しています。また、日常的に子供の様子について話題にし、複数での見守りに生かしています。

いじめを見逃さない対策として、アンケートや職員の気づき、ご家庭からの連絡等により、いじめにつながると懸念される事案を発見した場合は、担任だけではなく、管理職や生徒指導担当を含めた対策チームで、子供達の様子を分析し、適切な指導方法について検討します。必要に応じて、ご家庭にもご協力をいただいています。11月に行った2回目の「いやなこと」アンケートの結果についても後述の頁に掲載していますので、合わせてご参照ください。

11. 学校は、子供に対して、自分を大切にしたり、自分には良いところがあると自信をもったりする等の自尊感情を高める指導を行っている。

「自尊感情を高める指導」については、年度当初に学校の重点目標の一つとして設定し、全学級を通じて追求してきました。具体的には、その日の授業や活動において、必ず一人ひとりが自分の考えを披露したり、活躍したりする場面を設けるように工夫しています。また、運動会や学習発表会等の行事においても、子供一人ひとりが目標設定と振り返りをするすることで、自信や達成感につながる機会を設けています。お互いの良いところや努力を認め、励まし合う交流の場も、学級ごとの活動として進めています。

全学級で「自尊感情を高める指導」を積み重ね、今回のアンケートでは児童・保護者両方の肯定的回答率が向上したことは成果の一つです。今後も、子供の自己有用感を高める取組を進めてまいります。

12. 学校は、子供に将来の夢や希望をもたせるため、様々な場面を通して指導している。

これからの未来を生きる子供達には、急激な社会の変化に対応し、各自の幸福を追求していくことが必要です。小学校においては「なりたい自分の姿」を具体的にイメージし、達成する経験が、将来に役立ってきます。各学年では道徳や総合的な学習の時間における「職業調べ」等の授業を通して、子供自らが自分の将来について考える活動を実践しています。特に、高学年では中学校の進路指導につながる内容となるよう工夫しています。

子供が自分の将来について具体的な目標やイメージを抱くためには、学校だけではなく、ご家庭や地域との連携が重要となってきます。今後も、子供達が自分の可能性を広げ、力強く未来を生きる資質・能力を育めるようご理解・ご協力をお願いいたします。

○今年の夏のように猛暑の日が続くような時には、今年以上の熱中症・暑さ対策をお願いしたいです。

⇒今年は、北海道においても35℃を超える猛暑日が続き、ご家庭にも熱中症対策のご理解・ご協力をお願いしました。今年度の経験を反省・改善し、次年度の熱中症対策に生かしてまいります。また、猛暑日となる期間（8月下旬頃）の行事日程を見直していきます。

教育委員会では、新年度全ての普通教室にエアコン設置を検討しています。早ければ、夏休み明けに稼働する予定です。

○中学生に合わせて家庭学習強調週間を強化させるのは良い事だと思いますが、何をやったら良いのか分からなくて出来ない子や、低学年だと親が用意(しても)出来ない場合があると思います。学校で残ったプリントなど子供達が自分で選び、家庭学習で出してもOKと言うような事をしていただけると、プリントややる事を用意してあげられなかった時や見てあげられなかった時に助かります。

⇒家庭学習の習慣づけへのご協力、ありがとうございます。家庭学習の取組は、ご家庭のご協力により効果が高まりますので、大変助かります。

学校では、プリントなどの宿題も含めて家庭学習として指導しています。宿題を終えた後も、目標時間（学年×10分+10分）に達していない場合は、自分で学習することを考えて行う「自学」に取り組むよう指導しています。

現在、必要とされている学力とは、「与えられた問題に正解を出す」ことではなく、「その時々状況において自分で最適解を作り出す」ことです。自分で学習すべきことを考え、決め、実行していく姿勢こそが、これからの教育では重要です。

もちろん、すぐには子供達も「自学」ができるようになる訳ではありません。そこで、年度当初に配付した「家庭学習の手引き」を参考に、学年に応じた家庭学習の例を各学級で指導しています。ご家庭におかれましても、慣れない内は、引き続き一緒に問題を解いたり、アドバイスをしたりすることはとても役立ちます。今後も、子供達が「自ら学ぶ姿勢」を身につけられるよう励ましや声かけをお願いいたします。

冬休み明けには、漢字検定・算数検定も実施します。過去問題を家庭学習でも活用できるよう、学校でも声かけをしていきます。

○子供が、怒られる場面を度々見ていると言っています。家や学校でももう少しほめたり、認めてくれたりしたら自己肯定感が上がり、やる気が出てくるのではないのでしょうか。

子供と親、子供と教師、教師と親、お互いにストレスにならないやり取りが必要で、その為に親も教師も時代に合わせて考え方(子供に対する接し方)を更新していかなければいけないと思います。別々ではなく、一緒にあたたかい言葉掛けの勉強会や、リフレーミングワークなどを体験できたら、同じ方向で子供を伸ばす事ができないかなあいつも思っています。

⇒貴重かつ大変示唆に富むご意見、ありがとうございます。教師も親御さんも「同じ方向で子供を伸ばす事」が何よりも重要だというご意見には、学校としても全面的に同意いたします。

頂いたご意見は、全職員で受け止め、あらためて子供一人ひとりがかけがえのない存在であると認め、頑張ったことを褒める機会をあらゆる活動を通してつくっていくことを共有・確認いたしました。また、ご意見の通り、ご家庭と「子供の自己肯定感を育む」重要性を共有する機会を設けるために、学校からの発信の工夫や、ご家庭と一緒に研修する機会をPTA等の活動として検討することにつなげてまいります。

今後も、子供の成長のために、学校とご家庭の連携を深めるご意見をお願いいたします。

第2回いやなことアンケートの結果について

11月に今年度2回目の「いやなことアンケート」を実施し、全校的にいじめ把握の調査を行いました。5月に行った1回目の時と同様に、全ての児童に対して、担任が教育相談の機会を活用し、悩みや心配、友達とのトラブルがないかを聞き取りました。その上で、いじめ対策防止法に則り、担任のみの判断ではなく、本校のいじめ対策委員会において、一人ひとりの状況に応じて対策を協議しました。関係する全ての子どもと話をし、必要に応じてご家庭のご協力を得ながら、解決を図りました。今後も、案件によっては相応の期間（3ヶ月以上が目安とされています）見守り続け、必要に応じてご家庭に連絡したり、複数体制で支援を行ったりという対応を行います。

ご家庭におかれましても、お子さんが悩みや不安を抱えているとご心配な際は、学校へご連絡ください。これからも、家庭と学校、スクールカウンセラーや相談員などの関係者を含め相互に連携を深めながら、未然防止に力を入れ、いじめ0を目指していきます。

1. あなたは、今年の6月頃（第1回目のアンケート後）から今まで、嫌な思いをしたことがありますか。
ある … **25%**（5月：21%） ない … **75%**（5月：79%）

2. どんなことをされましたか。すべてに○を付けてください。	5月	11月
冷やかしかからかい、悪口をいわれる	12.5%	12.5%
仲間はずれや無視をされる	2.5%	5%
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたりする	2.5%	1.3%
ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする	4%	5%
お金や持ち物をかくされたり、いたずらされたりする	0%	3%
恥ずかしいことや危険なことをされたり、させられたりする	4%	0%
メールやSNS等で悪口を書かれたり、仲間はずれにされたりする	0%	0%
その他（低学年の子に体をさわられた、いやなことを言われた等）	7.5%	3.8%

3. あなたは、今も嫌な思いをしていますか。

している … **6.3%**（5月：11%） していない … **18.8%**（5月：10%）

その後の指導・調査で現在は解消済み

4. あなたは、嫌な思いをした時、誰に相談しますか。（複数回答あり）

先生	51.3% （5月45.5%）	電話相談	2.5% （5月 6%）
スクールカウンセラー	3% （5月 3%）	メールやSNSの相談窓口	1% （5月 1%）
友だち	38.8% （5月45.5%）	だれにもそうだんしない	10% （5月12%）
父や母	76.3% （5月79%）	その他（祖父母等）	1% （5月 3%）
兄弟姉妹	28.8% （5月26%）		

5. あなたは、友人が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。

ある … **23.8%**（5月：19%） ない … **76.3%**（5月：81%）

6. 学校から配られている「子ども相談支援センター電話相談紹介カード」を知っていますか。

知っている … **83.8%**（5月：91%） 知らない … **16.3%**（5月：9%）

7. あなたは、いじめはどんな理由があってもしてはいけないことだと思いますか。

そう思う … **97%**（5月：97%） そう思わない … **0%**（5月：0%）

よくわからない … **3%**（5月：3%）

12月の行事予定

妹背牛小学校ホームページ随時更新中！

<https://www.town.moseushi.hokkaido.jp/mosesho/>

妹背牛町のホームページからも閲覧できます



令和5年度			12月行事予定			各学年授業時数					
日	曜	スクールバス下校便	行 事 等			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	金	14:40 15:40	全校朝会 外国語4年③5年④6年⑥ 3年食育学習④			5	5	6	6	6	6
2	土										
3	日										
4	月	14:35				5	5	5	5	5	5
5	火	14:05 15:40	短	委員会8 外国語6年③3年④5年⑥		5	5	5	6	6	6
6	水	14:40 15:40		2年アイヌ文化活動①② 6年アイヌ文化活動③④		5	5	5	6	6	6
7	木	14:05	短	参観日(全学年) 4年PTAレク⑤		5	5	5	5	5	5
8	金	14:40 15:40		外国語4年③5年④6年⑥ 第4回PTA役員会18:00～		5	5	6	6	6	6
9	土										
10	日										
11	月	14:35	スクールカウンセラー9:30～14:30			5	5	5	5	5	5
12	火	14:05 14:50	短	外国語6年③2年④5年⑥		5	6	6	6	6	6
13	水	14:40 15:40		教育委員訪問 6年薬物乱用防止教室③		5	5	5	6	6	6
14	木	14:05 14:50 15:40	短	放課後学習教室12 1年PTAレク⑤ 6年金融リテラシー授業②		5	5	6	6	6	6
15	金	14:40 15:40		外国語1年②4年③5年④6年⑥		5	5	6	6	6	6
16	土										
17	日										
18	月	14:35		ていねい清掃1		5	5	5	5	5	5
19	火	14:05 14:50	短	外国語6年③3年④5年⑥		5	6	6	6	6	6
20	水	14:40 15:40		ていねい清掃2 1年食育学習④		5	5	5	6	6	6
21	木	14:05 14:50	短	読み聞かせ(図) 英検ESG6年		5	5	6	6	6	6
22	金	14:05	短	全校朝会(冬季休業前) 5年PTAレク⑤⑥ 赤い羽根募金受け渡し		5	5	5	5	5	5
23	土		冬季休業(～1/15)								
24	日										
25	月										
26	火										
27	水										
28	木										
29	金		年末休業 閉庁日								
30	土		年末休業 閉庁日								
31	日		年末休業 閉庁日								